

# 平成23年8月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成23年8月23日(火) 三好市教育委員会 会議室  
開会 午後2時00分  
閉会 午後3時54分

(2) 出席委員の氏名

委員長 岡本 佳代子 委員長職務代理者 小松 正  
委員 森本 久美子 委員 谷 敏司  
教育長 倉本 淳一

(3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長 田岡 啓子  
学校教育課長 伊原 清幸 生涯学習課長 鈴木 良英  
教育指導主事 喜多 雅文 学校教育課主任 南 明枝

◆傍聴人 0名

(4) 議事録署名者の指名

小松 正 委員

(5) 報告事項

①教育長等の報告の要旨

(倉本教育長)

行事について行事一覧表にそって説明します。

8月3日市民大学講座が中央公民館で行われました。第3回ということで、東祖谷の小西さんを講師に迎え、平国盛についてお話していただきました。

明日から、蕨文也杯がありますが、その実行委員会が、8月3日に行われました。

県へき地教育研究大会が、10月28日佐野小学校である予定になっています。打ち合わせを、8月4日に行いました。

8月9日人形浄瑠璃実行委員会を行いました。チケット・ポスターの印刷が出来たので関係者の方に配布をしました。今回、5回目の公演となりますが、三好市出身の

吉田勘緑さんの公演を中心にやってきていましたが、今回は体調の都合で、出演はせず、プロデュースをしていただくことになっています。

8月10日に小学校英語活動研修会を、元文部科学省の教科調査官の先生を講師にお迎えして実施しました。今年初めて始めた活動ですので、いろいろな悩みもあり関心もあったと思います。学校現場が、さらに活動を進めやすいようにしていかなければいけないなど考えています。

8月21日、第1回三好市学術・文化学会講座を開催しました。三好市でも学会を開いて、市民の皆さんに三好市の文化を深く探求していただくということで、今年から始めました。

三好長慶学会で、定員40人のところ67人の応募がありまして、阿南市、徳島市、東みよし町など県下全域、香川県からの参加もありました。

講師は、天野忠幸さんで、三好氏一族の研究の第一人者の方でした。

10月23日に第二回の学会があります。分かりやすいお話なので、2回目から参加されても大丈夫だと思います。

行事予定については、8月24、25、27日から、3日間蔦文也杯が開催されます。

吉野川の総合グラウンドと、山城の相川グラウンドで行います。

8月25日三好市教育研究発表会、毎年、三好市と東みよし町の先生が集まって、研究発表をします。講演会には元池田高校の野球部主将の江上さんをお迎えしています。

9月7日1時半から市民大学講座があります。元教育委員長の千葉先生が講師をされますので、ぜひ参加してください。

次回9月27日に教育委員会を開催して、その1時間前にコンプライアンス研修を行いたいと思います。

(岡本委員長)

何か質問はありますか。

それでは、報告事項は以上とします。

## (6) 議題および議事の概要

### 【議題】

- ① 平成23年7月定例会会議録の承認について
- ② (議事第1号) 平成23年9月補正予算について
- ③ (議事第2号) 休校に伴う校区の指定について

(岡本委員長)

続いて、議題に移ります。まず、1番の平成23年7月定例会会議録の承認について、事務局より説明をお願いします。

(伊原学校教育課長)

事前にご送付させていただきましたが、訂正がありましたら、ご指摘をいただきたいと思っております。

(各委員)

承認します。

(岡本委員長)

それでは、2番目平成23年9月補正予算について説明をお願いします。

(田岡次長)

お手元にお配りしております、予算の概要資料に沿って、説明させていただきます。1枚目に一般会計補正予算歳出の一覧がありますが、9款20,411千円が今回の教育費の補正予算となります。

20,411千円に対します財源内訳は国県支出金8,550千円、地方債が6,700千円、その他として、みよし広域連合から2,697千円、一般財源の2,464千円です。

次のページからは、事業ごとに予算を計上しています。

教育委員会関係補正予算総括表がありますが、それにそって説明させていただきます。

まず学校教育課ですが、平成22年度三好地区ふるさと市町村圏広域振興事業として、事業内容といたしましては、各学校図書館の資料の充実をはかるものでして、小学校費に1,789千円、中学校費に908千円、これが広域連合から歳入として一般図書館の購入費として充当されます。

次に、徳島県子育て支援臨時特別対策補助金で、県から100%補助金をいただける事業です。今回6つ事業がありまして、まず「キラリ輝け！阿波っ子パワー活動事業」で、これは東祖谷中学校と統合予定の小学校が合同で、地域住民と共に地域の特色を活かした教育活動を展開し、ふるさとを愛する心を育て、地域の一体感の醸成を図ることを目的とした事業内容で、小学校費に986千円予算を計上しています。財源は950千円が県補助となります。

次に、「ふるさと学び支援、ふるさとの魅力再発見事業」で、箸蔵小学校が地域住民、池田支援学校、三好高校とのふれあいを通じ、言語活動の基礎となる「伝え合う力」の向上や地域の誇りを持つ児童の育成を図るといった事業で、860千円予算計上

です。県の補助は 800 千円です。

地域で科学体験支援事業として、落合小学校をフィールドに、専門家や理科教員の指導により、自然観察の楽しさを体感し、科学的に調べる能力や態度を育てるという事業で、644 千円予算計上しています。うち補助額は 600 千円です。

次に、「ふるさと学び支援事業」として県内のへき地指定校を対象に、ふるさとの良さを体験する活動に補助されるもので、これはへき地指定校の小学校となりますので 12 校に対して 2,450 千円うち補助額が 2,400 千円となります。

中学校に対しては、西祖谷、東祖谷の 2 校が対象となりますので、420 千円うち 400 千円が補助額となります。

学校管理費の 600 千円は、今回 3 つの小学校が休校となるため、休校に関する記念誌発刊のための印刷製本代で 1 校 200 千円ずつの予算です。

次に、「学びのかけ橋プロジェクト事業」で、山城中学校を拠点に、いわゆる中一ギャップ解消のため、管内の小学校と提携し、教育活動を推進する事業内容で、3,250 千円の予算計上で、3,000 千円の補助額です。

おもなものとしては、山城中学校に、剣道のセットを備品で購入します。

最後は、道徳教育実践事業で、井川中学校において、創意工夫を活かした道徳教育に取り組み、実践研究を行う事業内容です。430 千円の予算で、うち補助額が 400 千円です。

学校教育課としては、総額で 12,337 千円の補正予算を計上しています。

次に、文化財課ですが、井川町辻地区町並み調査業務委託料ということで、辻地区におけるうだつの町屋等の調査を実施し、保存に向けた基礎資料を作成する事業で、3,444 千円の予算計上です。

もうひとつは、県指定文化財阿佐家住宅保存修復計画策定業務委託料で、阿佐家住宅保存修復計画を策定する事業で、3,329 千円の予算計上です。合計 6,773 千円の予算計上しております。これに関しましては、過疎債から、6,700 千円の充当となっています。

最後に、スポーツ健康課の学校等グランド芝生化事業ということで賃金 1,301 千円の予算計上となります。これは、現在 3 人の緊急雇用者によって、学校施設への芝生植栽をしていますが、当初予算では 9 月までの予算しか計上していませんでしたが、さらに 3 ヶ月の継続が必要となりましたので、計上しています。

細かい事業費については、添付資料をご覧ください。

以上です。

(岡本委員長)

たいへん詳しい資料で、事業の内容もわかると思いますが、何か質問はありますか。

(小松委員)

科学体験の支援事業ですが、落合小学校と近隣小学校となっていますが、非常にいい内容なので、もう少し広げてはどうでしょうか。

(田岡次長)

全体的に、補助事業をするにあたっては、市内全学校に案内をかけて、手を上げた学校を優先的にしています。

(岡本委員長)

科学体験事業はもう始まっていますか。この前、落合小学校であった科学体験フェスティバルはそうですか。

(伊原学校教育課長)

事業のメニューとしては始まっていますが、今回9月補正で計上するのはそのあとの部分で、まとめなどにかかる経費です。本当は、当初予算に計上するのがいいんですが、県からの補助金は内示が6月議会に間に合わないので、どうしても9月議会で補正するようになります。

9月議会閉会後の執行となりますので、前倒しはできないのでこういう形になります。

(森本委員)

学びのかけ橋プロジェクト事業は、9月の議会終了後、剣道の竹刀等を購入するのですよね。山城中学校で購入して、地域の小学生とかも一緒に剣道をするということですか。

(伊原学校教育課長)

そうです。この事業は、地元の小学生が中学校でどういう授業をしているかなどを、事前に体験することによって、中一ギャップを解消することを目的としています。

(岡本委員長)

ほか、ございませんか。

それでは、補正予算について、ご承認いただけますか。

(各委員)

承認します。

(岡本委員長)

それでは、3番目休校に伴う校区の指定について説明をお願いします。

(伊原学校教育課長)

資料に、休校になる学校の地区名を入れさせていただいています。  
ご協議いただくようよろしくお願いします。

(岡本委員長)

それでは、西山小学校につきまして、どうでしょうか。  
池田小学校で、問題ないかと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

承認します。

(岡本委員長)

それでは、西山小学校につきまして、池田小学校とします。  
次に、佐野小学校ですが、どうでしょうか。

(谷委員)

確認ですが、指定校を決めた場合、必ずその学校にいかなければいけないというわけではないですね。

希望によっては、ほかの学校にもいけるけど、通学のバス等の通学費用が自己負担となるということですね。

(倉本教育長)

そういうことになります。

(岡本委員長)

なにか、基準が必要となると思うのですが。

(小松委員)

教育振興計画に、小学校の児童数 60 人を最低基準としてあるので、一番に最寄りの学校、次に、60 人程度の学校に統合していくという基準でどうでしょう。

(岡本委員長)

それでは、その基準で、佐野小学校の指定校は、白地小学校でよろしいか。

今後のこともありますので、基本的には最寄りの学校、次に地域の要望を考慮する、ただし児童数が概ね 60 人程度以上の規模になるよう考慮するという基準で指定したいと思いますが、よろしいでしょうか。

(各委員)

承認します。

(岡本委員長)

次に、上名小学校ですが、いかがでしょうか。

(倉本教育長)

ここは 60 人にはなりません、地元の方はみんな下名小学校を希望しています。あまり遠い距離を通学するというのもどうかと思いますので、下名小学校でいいかと思いますが。

(岡本委員長)

上名小学校につきましては、下名小学校を指定ということでもよろしいか。

(各委員)

承認します。

(伊原学校教育課長)

補足ですが、別表(第 2 条関係)の備考欄のところに、今までは休校としか表記がなかったのですが、指定校の学校名を入れてもよろしいか。また、中学校の地区名の表記で、池田中学校も、他の中学校の様に池田町内全域と表記してもよろしいでしょうか。

(岡本委員長)

いかがでしょうか。

(各委員)

「同意。」

(岡本委員長)

以上で、議題については終わりたいと思います。  
それでは、その他の東祖統合小中学校の校章についてですが

(倉本教育長)

8月1日に締め切りまして、55点の応募がありました。先日、統合の推進協議会で決めたそうですが、教育委員会としてなにか意見ございますか。

(各委員)

推進協議会にまかせたので、いいのではないですか。

(岡本委員長)

では、推進協議会におまかせするというにします。次に、各学校運動会の出席についてお願いします。

(伊原学校教育課長)

23年度の幼稚園・小学校・中学校の運動会の予定表を付けておりますが、いつも教育委員さん中心に出席の予定を入れさせていただくことになってはいますが、どうでしょうか。

(小松委員)

王地・芝生小学校、三野中学校へ行きます。

(岡本委員長)

西井川・井内小学校、井川中学校へ行きます。

(森本委員)

山城・大野・政友小学校、山城中学校へ行きます。

(谷委員)

落合・栃ノ瀬・名頃小学校、東祖谷中学校へ行きます。

(岡本委員長)

それでは、各課連絡事項および当面の課題について、お願いします。

(伊原学校教育課長)

資料をお配りしていますが、佐野小学校で行われます、県へき地教育研究大会へ



の出欠を同封の返信用はがきでお知らせ下さい。事務局からは以上です。

(岡本委員長)

他ありませんか。

(小松委員)

一ヶ月ほど前にニュースでしていましたが、昨年度の県教委の取組みで万歩計事業があったと思いますが、そのまとめで、1千歩をさらに増やすような取組みをしようという話をしていましたが、市のほうにも来ていますか。5・6年生に配ったところ、14千歩だったので、後1千歩足りないのので、県全体の取組みとしてするようですが、どのようになっていますか。

(伊原学校教育課長)

確認しておきます。

(岡本委員長)

他になければ、これで定例会を終了します。

以上

本会議録に相違ないことを認め署名する。

平成23年 月 日

委員長

議事録署名者

書記